

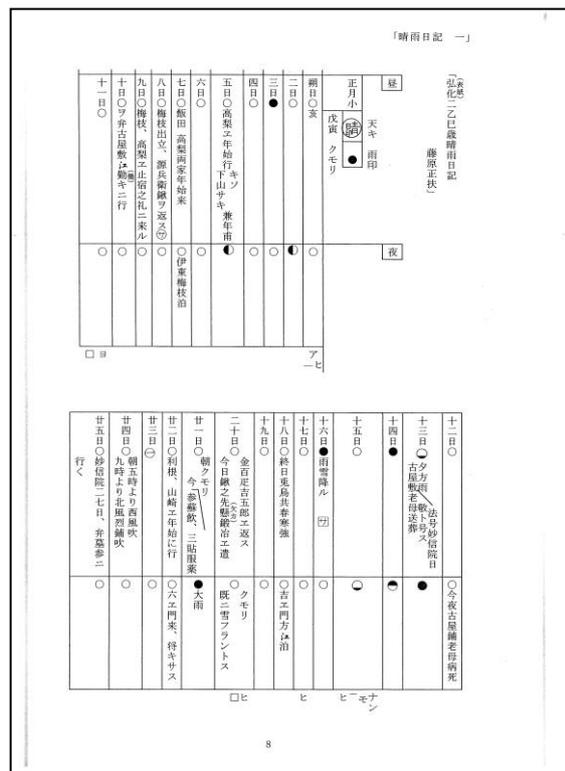
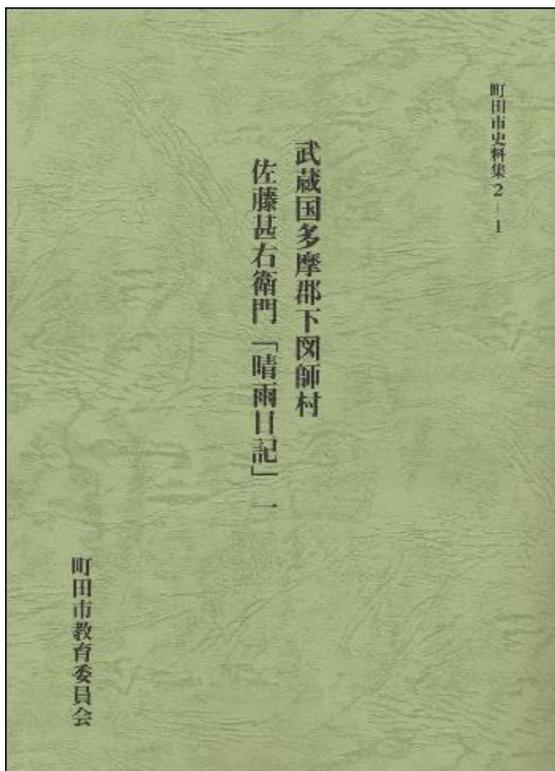
プレスリリース [2021年9月15日]

『町田市史料集2-1 武蔵国多摩郡下図師村佐藤甚右衛門
「晴雨日記」一』を刊行しました

市は、市域に残る史料（主に近世以降）を対象とした歴史資料の解説・翻刻・調査・研究成果を『町田市史料集』として刊行しています。

これは、市民をはじめ多くの方々が地域の歴史を知り・学ぶきっかけづくりとなることや、歴史資料の解説・翻刻など市民協働で行なっている取り組みの成果を発信することができる新たな場となることも企図したものです。

この度、武蔵国多摩郡下図師村の村役人を務めていた佐藤甚右衛門の日記を翻刻・刊行しました。



■ 内容

「晴雨日記」は、武蔵国多摩郡下図師村（現町田市図師町）の代々村役人を務める家柄に生まれた佐藤甚右衛門が、村役人在職中の弘化 2(1845)年から書き始めた日記の通称です。本書は、全 36 冊からなる日記のうち、1 冊目から 10 冊目（1845 年正月～1851 年 10 月 29 日）を全文解読・翻刻したものです。

解読は、市民の古文書解読サークル「華耀（かよう）会」が担い、市民協働により刊行しました。華耀会は、全 36 冊の全文解読を行ない、今後も継続的に史料集の刊行を行なっていくことをめざしています。

これまで「晴雨日記」は、自由民権資料館において、一部展示などで紹介をしてきましたが、全文の翻刻成果は公開してきませんでした。「晴雨日記」は、図師村をはじめとした周辺地域の幕末維新期の様子を知る上で、大変貴重な史料です。本書はその最初の成果となります。

■ 部数・費用

500 部（1 冊 500 円、市庁舎 1 階市政情報課・自由民権資料館で販売）

■ 本件に関するお問い合わせ先

生涯学習部生涯学習総務課 課長 江波戸 TEL 042-724-2181